

拝啓、毎回全く同じ文面だった冒頭文を少し簡略化しました。

私播磨屋助次郎は、地元警察が「天皇陛下のご命令です」と明言して、健康状態を毎月欠かさずチェックしに来てくれる、そんな特別な人間なのです。

その積もりでお読み頂ければ幸いです。

今回は「人類は地球のガン細胞」という話です。

このユニークで恐ろしい発想は、平成時代の初めごろ、縁有って「環境問題」の超絶した重大性に目覚めた私が、真っ先に気づいた真実でした。

当時私は、米菓（おかきやせんべい）の消費者直結ダイレクト販売という、前代未聞の斬新な手法で、とんでもない大飛躍の緒に就いたところでした。

折からのバブル経済の追い風も手伝って、それこそアツと言う間に、日本全国何百万人とも知れぬ、真実有り難い常連顧客の輪が広がり続けていたのです。

そんな中で突然「地球環境問題」に遭遇してしまったのです。

一万五千坪もの広大な土地に、何千坪もの大工場を次々に建て、超が付くほどの大量生産を続けながら、私はふと気づいたのです。

人間界では非常に喜ばれているが、自然界では全くの厄介者ではないかとです。大きな疑問を決して放置することが出来ない困った性分の私は、早速なぜなんだろうと考え始め、すぐに「人生とは何か」の明答が無いからだと気づいたのです。

そして思ったのです。これでは「人類は地球のガン細胞」ではないかとです。今日へと続く長い長い苦闘の旅が始まったのは、そこからののです。

しかしもうあと一息です。天皇直訴を続けます。応援して頂ければ幸甚です。